

平成30年度ごみ処理実施計画 における具体的施策の実施状況について

1 平成30年度ごみ処理実施計画における重点項目

「長野市一般廃棄物処理基本計画(H29～33(2021)年度)」で定めている4つの基本方針、17の基本施策に基づき、目標達成のための具体的施策を実施しました。

平成30年度は、ながの環境エネルギーセンターが稼働したことから、稼働を契機とした可燃ごみの減量に関する基本施策を重点項目としました。

- ①家庭ごみの発生抑制の推進
- ②事業ごみの発生抑制の推進
- ③環境教育の充実
- ④分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進
- ⑤食品ロス削減に取り組む活動への支援
- ⑥効率的な廃棄物行政の推進
- ⑦ごみ処理施設の整備

2 平成30年度ごみ処理実施計画 達成状況

A評価 …… 4 3

B評価 …… 7

C評価 …… 2

D評価 ……なし

E評価 ……なし

F評価 ……なし

・各施策の達成状況を、A～Fの6段階で評価した

A：今年度の計画に対して概ね8割以上達成したもの

B：今年度の計画に対して概ね6～8割の進捗だったもの

C：今年度の計画に対して概ね4～6割の進捗だったもの

D：今年度の計画に対して概ね2～4割の進捗だったもの

E：今年度の計画に対して概ね2以下の進捗だったもの

F：未着手のもの

基本方針1 循環型社会へ向けた市民・事業者・行政の三者一体による取り組み

基本施策	実施内容
<p>1 家庭ごみの発生抑制の推進</p> <p style="text-align: right;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2R啓発の強化として、サンデーリサイクルの案内チラシへごみ減量チェック表を掲載、ごみカレンダーとともに全戸配布 ・広報ながの7月号特集ページで「3Rの実践」について掲載 ・生ごみの自家処理を促進するため実践講座を開催 20回 ・チャレンジ800実行チームへ参画、県運営の「信州ごみげんねっと」に食品ロス削減の記事を掲載
<p>2 事業ごみの発生抑制の推進</p> <p style="text-align: right;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ「事業所から出るごみの処理方法」を整備、排出事業者責任について掲載 ・多量排出事業所に減量計画書提出の依頼文送付の際に排出事業者責任に関するチラシを同封し、啓発
<p>3 社会的責任を意識した事業活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながのエコ・サークル認定事業所の取組事例を紹介 31事業所
<p>4 循環利用の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」へ参加 H29～30年度で、85kg回収(H31.2現在) ・「環境にやさしい農業地域循環モデル事業」として、国民宿舎松代荘と市農業研修センターで野菜くずに係る処理契約を締結し、野菜くずを堆肥化する。回収量 1,200kg ・また、農業研修センターで栽培した野菜を松代荘へ販売し、地産地消を図った。

<p>5 地球温暖化防止等への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスタウン産業都市構想案の内容を引き続き検討 ・リサイクルプラザでながの環境フェアの開催 来場者数 3,700名
<p>6 環境教育の充実</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県立大学との連携事業「災害備蓄食品の有効活用」レシピを考案、自主防災組織会長研修会で紹介予定 ・園児を対象とした生ごみ処理教室(パネルシアター)を開催 5回 ・市内小学校4年生を対象に清掃センターの施設見学を実施併せてごみ減量チェック表やレジ袋削減パンフレットを配布 受入れ団体数 83団体 3,986人 ・えこねこ通信(11号)の発行
<p>7 分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながの環境エネルギーセンター稼働に伴い、ごみの出し方保存版を刷新、全戸配布 発行部数 190,000部 家庭灰の排出方法を変更(ビン→可燃ごみ) 住民自治協議会へはメール一斉送信 ・清掃センターでの展開検査 7回 ながの環境エネルギーセンターでの展開検査 8回 ・北信保健衛生施設組合離脱に伴う説明会を豊野地区で開催 区長説明会 1回 環境美化代表者説明会 1回
<p>8 不法投棄対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン長野推進本部が6月に解散 ・ごみゼロ運動の実施

基本方針2 心地よい暮らしづくりに向けた新たな課題への取り組み

基本施策	実施内容
<p>1 社会状況の変化に応じた市民ニーズの把握と情報発信の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながの環境パートナーシップ会議で「SDGs公開学習会」を開催 ・信州大学生、長野県立大生へSDGsを切り口としたごみ減量、分別に関する啓発を実施 ・市オープンデータサイトにごみの分別辞典、家庭ごみ収集日程データを掲載、併せてアプリ等開発者へ、ごみの減量・分別啓発への協力を依頼
<p>2 排出困難者への支援の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の取組状況について情報収集
<p>3 食品ロス削減に取り組む活動への支援</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">重点</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に長野エコ活動推進本部の設立 ・長野エコ活動推進本部、県、市合同の30・10運動の街頭啓発 12月 ・フードドライブを実施するNPO等への支援 5回 531人の個人、企業、団体から、2,472kgの食品・子ども用品の寄付を受け、その内 786kgを信州子ども食堂へ提供 ・信州こども食堂ネットワーク交流会で意見交換
<p>4 新たな啓発施設（複合施設）の活用方法の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サンマリーンながのとの共有エリア「アトリウム」をフリーマーケットやながの環境フェアで天候に左右されない会場として有効活用

基本方針3 環境負荷の低減に配慮した廃棄物処分への取り組み

基本施策	実施内容
1 適正な収集運搬体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・新焼却施設稼働に伴う、収集運搬事業者との協議 ・北信保健衛生施設組合離脱に伴い、東山クリーンセンターで収集運搬許可事業者に対し、H31.4月以降可燃ごみの搬入先が変更になる旨のチラシを配布
2 効率的な廃棄物行政の推進 重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理手数料の見直し(5/14 諮問、11/13 答申) ・H29年度ごみ処理コストを算出並びに環境省一般廃棄物処理事業実態調査の取りまとめ結果を市ホームページへ掲載
3 ごみ処理施設の整備 重点	<ul style="list-style-type: none"> ・長野広域連合が大豆島地区に整備していた「ながの環境エネルギーセンター」が完成 9月から試運転開始、2月末にしゅん工、3月から本稼働 ・清掃センターの名称を「資源再生センター」に変更
4 災害廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会に参画、情報伝達訓練・図上演習へ参加

基本方針4 計画を推進していくための取り組み

基本施策	実施内容
1 PDCAサイクルによる計画(施策)の進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会での具体的施策の審議、実施計画の策定 ・市まちづくりアンケートや国の環境白書等からごみに関する意識の分析

2 ごみ量の推移

4～2月の同時期比較

単位 トン【家庭ごみ（集団回収除く）、事業ごみ】

【市民一人一日当たりの家庭系可燃・不燃ごみ】単位 グラム

